

本 会 記 事

平成28年度第1回評議員会議事録

日 時：平成28年11月12日（土）14:30～16:20

場 所：日本植物防疫協会会議室（地階大会議室）

出席者：

秋光和也，青木孝之，有江 力，濱本 宏，曳地康史，一瀬勇規，石黒 潔，岩井 久，景山幸二，川北一人，北 宜裕，近藤則夫，久保康之，窪田昌春，眞岡哲夫，増田 税，守川俊幸，仲川晃生，中島 隆，中屋敷均，難波成任，夏秋啓子，大木 理，大島一里，奥野哲郎，佐野輝男，佐藤豊三，高橋英樹，高松 進，竹下 稔，瀧川雄一，寺岡 徹，土佐幸雄，土屋健一，津田新哉，柘植尚志，月星隆雄，對馬誠也，吉川信幸，金山晋治，桑田 茂会長，夏秋知英副会長，吉田重信庶務幹事長，平塚和之庶務副幹事長

以上評議員44名（定員55名，欠席者：阿久津克己，荒瀬榮，宇垣正志，児玉基一郎，高橋賢司，根岸寛光，長谷川裕，廣岡 卓，平八重一之，松永 礼，渡邊 健）

幹事・事務局出席者：越智 直庶務幹事，鍵和田聡会計幹事，山内智史庶務幹事，古谷綾子副会計幹事，渡辺玲子事務局員，水藤早紀事務局員

1. 開会の挨拶（桑田会長）

2. 審議事項（議事進行：桑田会長）

(1) 平成29年度功績者の推薦について（奥野功績者推薦委員長）

委員会から名誉会員に加来久敏氏，稲葉忠興氏，本田雄一氏の3名が推薦され，永年会員に松田安男氏，大橋祐子氏，玉田哲男氏，堀尾英弘氏，益子道生氏の5名が推薦され，承認された。

(2) 平成29年度論文賞の選定について（川北編集委員長）

委員会より論文賞授賞候補論文に以下の2編が選定されたことが報告され，承認された。（筆頭著者のABC順）

- Jinyan Liu, Bo Min Kim, Yo-hei Kaneko, Tsuyoshi Inukai, Chikara Masuta. Identification of the *TuNI* gene causing systemic necrosis in *Arabidopsis* ecotype Ler infected with *Turnip mosaic virus* and characterization of its expression. *Journal of General Plant Pathology* 81(3): 180–191 (2015)
- Daiki Tsushima, Charith Raj Adkar-Purushothama, Akito Taneda, Teruo Sano. Changes in relative expression levels of viroid-specific small RNAs and microRNAs in tomato plants infected with severe and mild symptom-inducing

isolates of *Potato spindle tuber viroid*. *Journal of General Plant Pathology* 81(1): 49–62 (2015)

(3) 平成29年度学会賞及び学術奨励賞の選定について（桑田賞選考委員長）

委員会から選考経過が報告され，学会賞授賞候補者に次の3氏が決定したことが報告され，承認された。（氏名のABC順）

- 石川雅之氏「タバコモザイクウイルスの複製機構に関する研究」
- 岩井 久氏「南部日本で発生する植物ウイルス病の診断と遺伝子解析」
- 鈴木信弘氏「マイコウイルス研究の新展開」
学術奨励賞授賞候補者に次の3氏が決定したことが報告され，承認された。（氏名のABC順）
- 石賀康博氏「トマト斑葉細菌病の生産する植物毒素コロナチンの作用機構に関する研究」
- 越智 直氏「ダイズ黒根腐病の発生生態と防除に関する研究」
- 山岸菜穂氏「セルリー萎縮炭疽病の生態解明と防除に関する研究」

(4) 平成29年度日本農学賞推薦者の選定について（桑田賞選考委員長）

委員会から選考経過が報告され，日本農学会推薦者に白石友紀氏が決定したことが報告され，承認された。

(5) 平成30年度大会開催地について（土佐評議員）

平成30年度大会を神戸市において開催することが提案され，承認された（開催期間：平成30年3月25～27日，会場：神戸国際会議場）。

(6) 平成29年度教育プログラム開催地について（大島評議員，竹下評議員）

平成29年度の第13回植物病害診断教育プログラムを佐賀大学にて開催することが提案され，承認された（開催期間：平成29年9月11～15日）。

(7) 和文誌投稿規程の見直しについて（川北編集委員長）

日本植物病理学会報（和文誌）の場合，紙媒体による郵送での投稿および審査が行われているが，編集業務および審査の効率化のため，電子メールによる投稿および審査への変更と，それに伴う投稿規程の改正が提案され，承認された。JGPPへの投稿論文の多くに書式の不備が認められ，投稿論文の質の向上を図るため，投稿規程（Aims and Scope, General information）を改正することが提案され，承認さ

れた。学会誌 100 周年記念企画として、過去 100 年に学会誌に掲載された重要論文を、第 83 巻第 1 号 (2017 年) ~ 第 84 巻第 4 号 (2018 年) の 8 号に渡り各号当たり 2~3 報程度、和文誌に再掲載することが提案され、承認された。

3. 報告事項

(1) 平成 29 年度副会長選挙結果の報告 (有江選挙管理委員長)

選挙の結果、久保康之氏が選出されたことが報告された。

(2) 日本農学進歩賞の受賞者の報告 (吉田庶務幹事長)

学会員の藤川貴史氏「カンキョウグリーンニング病根絶対策を加速する簡便迅速な検出法開発」、前島健作氏「ブルムボックスウイルスの高度診断技術の開発および分子疫学的研究」が平成 28 年度 (第 15 回) 日本農学進歩賞を受賞したことが報告された。

(3) 平成 28 年度大会・部会・研究会・談話会報告 (吉田庶務幹事長・一瀬評議員・濱本評議員)

平成 28 年度の大会、部会、研究会等の開催状況が報告された。

(4) 平成 29 年度大会案内 (吉川平成 29 年度大会委員長)

平成 29 年度大会が、4 月 26~28 日に盛岡市 (マリオス、アイーナ、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング) で開催される予定であることが報告された。

(5) 2020 年アジア植物病理学会開催準備状況 (桑田会長)

国際交流メンバーに加えて、各地区の常任評議委員から構成される準備委員会を立ち上げ、メール審議によって開催場所、開催時期を決めること、準備委員会の後に各地域のメンバーから構成される組織委員会を立ち上げる、次回の評議員会までに骨子を固める方針が報告された。

(6) 編集委員会報告 (川北編集委員長)

JGPP への海外からの投稿論文の採択率は 5~6% と低迷しており、新規性や内容に難点のあるものが多いこと、フォーマットの守られていないものが投稿されてくることが報告された。また、インパクトファクター (IF) は上がっているが海外からは十分に認知されていないこと、IF を維持・向上するため過去 2 年間に掲載された論文を少なくとも 2 報以上引用することが報告された。

(7) 幹事会・編集委員会合同会議報告 (鍵和田会計幹事)

幹事会と編集委員会による合同会議の結果について報告された。JGPP 編集の Springer との契約は 4 年間で 2017 年 12 月までであるが、契約途中の解約でも違約金は発生しないこと、ビックディールに入っていると閲覧されやすいこと、仮に中西印刷に変更した場合には J-STAGE への掲載となるため学会で有料閲覧に係る集金作業が必要となることから、今回は Springer との契約を更新することが

報告された。また、和文誌の投稿方法の見直し、科研費への対応として JGPP 投稿規程の見直し、海外レフェリーの登用・優遇措置、不正投稿防止システムの利用、PubMed への収録のための Instructions for Author の追加・修正、投稿料未払いへの対応について報告された。PubMed への収録に関しては次回の評議員会の審議議題とすること、編集委員会と幹事会の合同打ち合わせについては毎年度開催することが報告された。

(8) 日本農学会報告 (吉田庶務幹事長)

9 月 5 日に開催された平成 28 年度第 2 回日本農学会運営委員会の議事録概要が報告された。一般社団法人を念頭に法人化について議論を進めていること、平成 29 年度シンポジウムは、「今、農・食の生産をおびやかす地球規模の環境変化に農学がどう立ち向かうか」(仮題)のテーマで 10 月 14 日に開催予定であり、当学会からは講演候補者として大藤泰雄氏を推薦していること、日本農学会ホームページがリニューアルされたこと等が報告された。

(9) 日本学術会議植物保護科学連合報告 (鍵和田会計幹事)

平成 28 年 12 月 3 日に開催される平成 28 年度日本学術会議公開シンポジウムにおいて、当学会から推薦された高橋英樹氏が講演予定であることが報告された。

(10) 2016 年度病名目録の発行 (越智庶務幹事)

日本植物病名目録 (2016 年版) が病名委員会により作成され、会員専用ページからダウンロード可能であることが報告された。

(11) 農研機構遺伝資源センターからの病名目録利用許可 (吉田庶務幹事)

農研機構遺伝資源センターより、日本植物病名データベースの充実・高度化のため日本植物病名目録に係る情報の利用に関する利用許可願いが当学会に提出され、学会長名で許可したことが報告された。

(12) 日本植物病理学会 / オーストララシア植物病理学会間の協定に基づく学生会員交換事業 (夏秋国際化対応委員長)

オーストララシア植物病理学会 (APPS) はオーストラリア、ニュージーランド、フィジー等の ASEAN の国々が加入している学会で日本植物病理学会とは協定を結んでいること、今年度は APPS から 2 名を受入れる予定であること、来年度は日本から 2 名を派遣する予定であることが報告された。

(13) 男女共同参画学協会連絡会の活動報告 (夏秋男女共同参画学協会担当評議員)

日本植物病理学会はオブザーバー会員であり、ワークライフバランスに関するアンケートの依頼が来たこと、本学

会からは95名が回答したことが報告された。

(14) 技術士対応委員会・5学会技術士育成推進委員会
報告(濱本技術士対応委員)

平成27年度の技術士試験合格者は9名であり、合計103名となったこと、平成28年度技術士試験対策セミナーおよび技術士対応委員会・5学会技術士育成推進委員会の開催状況、関連5学会の平成28年度技術士育成対応状況、および技術士の選択科目については統合が検討されていることが報告された。平成29年度技術士試験対策セミナーの開催は第一部(第一次試験受験者向け)をランチョンセミナー形式で行い、第二部(第二次試験受験者向け)は一般講演の時間に行うことが報告された。

(15) 科研費の採択(鍵和田会計幹事)

科研費国際情報発信強化(B)に採択され、平成28年度~32年度までの5年間補助金を受けることが報告された。

(16) 名誉会員 高浪洋一元学会長の逝去(吉田庶務幹事長)

10月9日に高浪洋一元学会長がご逝去され、当学会からは供花と弔電をお送りしたことが報告された。

(17) その他

- ・高校生の学会発表に関連して、規程の整備など今後検討が必要であることが確認された。
- ・大会講演要旨集の経費として、PDF化、ダウンロード形式への変更により、現在の冊子体作成に係る費用に比べ約80万円軽減されるが、一部でも冊子体を作成すると、現在よりも高額になることが報告された。
- ・部会のプログラムは、PDF化して開催前に学会Webページに掲載することは可能であるが、講演要旨については座長の確認が必要であることから掲載しないことが確認された。

平成28年度第3回日本農学会運営委員会議事録

日時:平成28年12月12日(月)15:00~16:00

場所:東京大学農学部3号館4階 大会議室

出席者:

三輪睿太郎会長、西澤直子副会長、峯 洋子(園芸)、矢部和弘(シス農)、松下範久(樹医)、中村英光(植調)、高梨秀樹(育種(代))、伏信進矢(応糖科)、日本典秀(応動昆(代))、太田能之(家禽)、松村一善(砂丘)、青木直大(作物)、勝間 進(蚕糸)、嶺田拓也(雑草)、高橋輝昌(芝草)、金井克晃(獣医)、前島健作(植病)、堀 靖人(森林)、伊藤直樹(水産)、塩出大輔(水工)、安永円理子(生環)、石川尚人(草地)、山内啓太郎(畜産)、大塚重人(土肥)、小原廣幸(熱農)、小沢 聖(気象(代))、北原克宣(農経(代))、野尻秀昭(農化)、

野口良造(農作)、森山裕充(農薬)、杉浦幸二(繁殖)、菊池宏之(フード)、前島勇治(ペドロ(代))、齋藤継之(木材)、牧野義雄(農食工)、荒木徹也(農施)、中村典裕(農情)、吉田修一郎(農村工)、橋本 禅(農計)、井上雅文(木質)、黒住圭子(事務担当)

欠席者:

會田勝美副会長、土田志郎(実農)、吉本 敦(森計)、大貫靖浩(森立)、矢沢勇樹(海水)、山田隆一(国地開)、大黒俊哉(造園)、野村こう(動遺育)、横山 正(土微)、高橋明広(経営)、青木謙治(木加工)、山本信次(林経)

議長:三輪会長

進行:牧野庶務担当常任委員

議事:

1. 平成28年度第2回日本農学会運営委員会議事録(案)の承認について
2. 平成28年度事業報告(案)
3. 平成28年度収支決算報告(案)
4. 平成29年度事業計画(案)
5. 平成29年度収支予算計画(案)
6. 日本農学会法人化について
7. 平成29年度評議員会について
8. 平成29年度評議員・運営委員・常任委員について
9. 平成29年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
10. その他

配布資料:

1. 平成28年度第2回日本農学会運営委員会議事録(案)
- 2-1. 平成28年度事業報告(案)
- 2-2, -3. 平成28年度シンポジウムの報告および出版関連
3. 平成28年度収支決算報告(案)
- 4-1. 平成29年度事業計画(案)
- 4-2, -3. 平成29年度シンポジウム実施計画案/平成29年度企画委員
- 5-1. 平成29年度収支予算計画(案)
- 5-2. 平成29年度日本農学会正会員数
- 6-0. 日本農学会法人化に関する検討経過
- 6-1. 法人化対応委員会審議、検討事項
- 6-2. 法人化のポイント Ver2
- 6-3. 一般社団法人定款案(素案)・規程案
- 7-1. 平成29年度評議員会開催案内
- 7-2, -3. 平成29年度評議員出欠票・委任状
8. 平成29年度評議員・運営委員一覧表
9. 常任委員割当て表
10. 平成29年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

三輪会長挨拶：

議題に先立ち、1年間の日本農学会活動のご協力、また、法人化についてアンケート等のご協力に対してのお礼があった。今日の議題でも法人化について審議いただくことになるが、ぜひご意見をいただきたい旨お願いがあった。

議事 1. 平成 28 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録(案)の承認について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成 28 年度事業報告(案)

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。シンポジウムについては松村企画担当常任委員から報告があった。

議事 3. 平成 28 年度収支決算報告(案)

前島会計担当常任委員から収支計算書について予算案より増減の項目について説明があった。ほぼ予算案通り執行されている旨説明があり了承された。

議事 4. 平成 29 年度事業計画(案)

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき例年通りの事業計画だが、来年度は法人化申請(評議員で審議)の項目が追加されている旨説明があり了承された。

平成 29 年度シンポジウムについては、松村企画担当常任委員より企画委員会決定事項をふまえて説明があった。タイトルは「大変動時代の食と農」に決定され了承された。

議事 5. 平成 29 年度収支予算計画(案)

前島会計担当常任委員から予算案に基づき、法人申請経費として計上されている旨説明があり了承された。

議事 6. 日本農学会法人化について

前島常任委員から 9 月 5 日の運営委員会以降の検討経過について説明があった。また、法人化対応委員会での議題、その後の法人化のポイント、定款・規則(案)について説

明があった。三輪会長より前回の運営委員会からおおきく変更したことは、理事会を設置することで定款(案)等の変更をした説明があり了承された。

議事 7. 平成 29 年度評議員会について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき日時、議事、日本農学賞選考会について説明があった。

議事 8. 平成 29 年度評議員・運営委員・常任委員について

牧野庶務担当常任委員より資料に基づき、平成 29 年度常任委員は 28 年度からの、松村一善(日本砂丘学会)、勝間進(日本蚕糸学会)、嶺田拓也(日本雑草学会)の 3 名、29 年度からの、青木直大(日本作物学会)、北原克宣(日本経済学会)、齋藤継之(日本木材学会)の 3 名、合計 6 名となる旨説明があった。

議事 9. 平成 29 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

16 学会から 15 名の推薦があり 50 音順に抽選を行い、下記の通り確定した。

1. (公社) 日本樹医学会, 2. 農業食料工学会, 3. (公社) 日本水産学会, 4. 農村計画学会 / (公社) 日本造園学会, 5. (一社) 日本繁殖生物学会, 6. (一社) 日本土壤肥料学会 7. (公社) 日本農芸化学会, 8. (公社) 農業農村工学会, 9. (公社) 日本畜産学会, 10. 農業施設学会, 11. 日本作物学会, 12. (一社) 日本森林学会, 13. 日本植物病理学会, 14. 日本育種学会, 15. 日本応用糖質科学会.

議事 10. その他

- ・牧野庶務担当常任委員より、日本有機農業学会から入会申請があった旨報告あった。
- ・前島会計担当常任委員より日本農学会のホームページがリニューアルされた旨報告があった。
- ・会議日程：平成 29 年度評議員会 1 月 20 日(金)、平成 29 年度第 1 回運営委員会 3 月上旬予定